



キルギス共和国

Kyrgyz Republic



音楽交流から知る

羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート～草原の風を感じて～

◆◆関連展示◆◆

キルギスの伝統や暮らしが感じられる展示

伝統的な移動式住居（ユルタ）や民族衣装などを間近に見ることができます。

☆8月14日(水)～18日(日)
☆午前9時～午後5時
(最終日は午後7時まで)
☆ゆとろぎ展示室



▲ユルタ



▲グルム・カシムバエヴァさん



▲三田りょうさん

日時 8月18日(日)午後4時～(開場午後3時30分)
会場 ゆとろぎ大ホール
定員 700人(全席指定)
入場料 大人1000円、4歳～高校生300円
※4歳未満の膝上鑑賞は無料
出演 ○グルム・カシムバエヴァさん(キルギス出身の全盲の女性歌手)
○三田りょうさん(あきる野市在住、演歌歌手、羽村市・キルギス共和国友好親善ボランティア大使、アラバエフ・キルギス国立大学附属日本学院名誉顧問)
○キルギス民族楽器コムズ演奏者ほか
チケット販売 7月15日(月・祝)からの午前9時～午後8時に、直接ゆとろぎへ
※祝日以外の月曜日休館
問合せ ゆとろぎ ☎570-0707

2020 はむらサポーター〈スペシャルサポートメンバー〉募集!

東京2020大会を羽村市から盛り上げていくため、市主催の関連イベントをサポートしていただける方を募集します。

対象 市在住・在勤・在学または市内で活動する団体に所属している中学生以上の方
※未成年者は保護者の同意が必要です。
※活動はいずれも半日程度、無償です。

イベント期日・会場

①羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート・関連展示
日時 8月14日(水)～18日(日)
会場 ゆとろぎ

②東京2020大会を応援しよう! 1年前イベント in 羽村
日時 9月7日(土)
会場 スポーツセンター

③ポッチャはむら大会
日時 12月8日(日)
会場 スポーツセンター

申込方法 希望する①～③のイベント開始1週間前までに、申込書に必要事項を記載し、ファクス、Eメールまたは直接申込み先へ

申込み先・問合せ 東京オリンピック・パラリンピック準備室(内)344 FAX 554-2921
〒1090000 city.hamura.tokyo.jp

※直接申込み・問合せの受付時間は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時です。
※申込書は、市内公共施設で配布するチラシにあるほか、市公式サイトからダウンロードすることができます。

ユーラシア大陸のほぼ中央に位置する山々に囲まれた美しい国、キルギス共和国。かつては遊牧の民が行き交い、都が栄え、シルクロードの要でした。現在もたくさんの民族が共存し、変化に富んだ文化を織りなしています。

キルギス共和国男子柔道ナショナルチームは、2019世界柔道選手権東京大会と東京2020オリンピック競技大会の事前キャンプを羽村市で行うことが決まりました。キルギスの皆さんを歓迎し、温かく交流できるように、この機会に私たちもキルギスについて知識を深めましょう。

羽村市が、キルギス共和国のホストタウンとして登録されました

「ホストタウン」とは、東京2020大会に向け、大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方自治体を内閣官房が登録する制度です。今後は事前キャンプ実施を支援するとともに、文化などを通じた相互交流事業を実施していきます。

写真やデータから知る



首都はビシュケク市。キルギス共和国の中心地でありながら、天山山脈が見渡せる、どこかゆったりした町です。



かつてのような遊牧生活は今ではほとんど見られませんが、郊外では馬に乗って羊などを追う人の姿が見られたり、羊や馬の肉、乳を使った料理には暮らしの知恵が詰まっています。



特色のある大小さまざまなバザールでは、食料品から、衣料品、日用雑貨におみやげものまで、ありとあらゆるものが並びます。

キルギス共和国データ

面積：198,500km² (日本の約半分)
人口：600万人 (2017年 国連人口基金)
首都：ビシュケク (Bishkek)
言語：主にキルギス語とロシア語
主要産業：農業・畜産業 (GDPの約3割)、
鉱業 (金採掘)
日本との時差：マイナス3時間
日本からは：飛行機で約10時間

キルギス共和国男子柔道ナショナルチームによる事前キャンプが決定しました

7月4日、キルギス共和国ビシュケク市において、羽村市とキルギス共和国柔道連盟は「2019世界柔道選手権東京大会」「東京2020オリンピック競技大会」でのキルギス共和国男子柔道ナショナルチームの事前キャンプの実施について、合意書を締結しました。



▲合意書を取り交わすコルバエフ・ズホルドツシュベック柔道連盟会長と並木市長

戦争と平和についてみんなで考えてみませんか ～平和啓発事業～

問合せ 企画政策課 ☎ 314

第二次世界大戦終結から74年。過去の戦争体験を風化させることなく、戦争を知らない世代に平和の大切さを伝え、日常生活から「平和の尊さ」を感じ取ることができるよう、戦争関連資料の展示や朗読会などを行います。

平和の企画展
資料の展示
東京都所蔵の写真パネル、羽村市所蔵の戦争関連資料や図書などを展示します。

日時 8月3日(土)～18日(日)の午前9時～午後8時
※8月5日(月)・15日(木)を除く。

会場 図書館1階力ウンター前
期日 8月3日(土)
絵本と映画で平和の尊さを知る
会場 ゆとろぎ2階講座室1
定員 各回40人(先着順)
※直接会場にお越しください。

朗読 「おりづるの旅」
朗読者 川邊志保子さん、久保和美さん
時間 午後1時～
○映画上映会
(1)「ヒロシマに一番電車が走った」 午後1時25分
(2)「夏服の少女たち ヒロシマ・昭和20年8月6日」 午後2時～

黙とうにご協力
8月15日は終戦記念日です。第二次世界大戦により尊い生命を失われたすべての方に追悼の意を表し、広島・長崎における原爆死没者のご冥福、そして世界の恒久平和を願って、終戦記念日に黙とうを行います。皆さんのご協力をお願いします。

日時 8月15日(木)正午から1分間

「青梅・羽村ピースメッセンジャー」派遣報告会
羽村市と青梅市の中学生が「青梅・羽村ピースメッセンジャー」として広島市を訪問し、平和記念式典への参加、平和関連施設の見学、原爆被爆者などからの体験談を聞き、それらを通じて考えたことを報告します。

日時 8月18日(日)午後1時30分～2時30分
会場 ネットたまごセンター(青梅市文化交流センター) 多目的ホール
定員 200人



「青梅・羽村ピースメッセンジャー」派遣報告会



▲エコちゃん

エコ再配達を減らす意識を持って、今後の動きに注目ですね！
問合せ 環境保全課 ☎ 225

クールエコちゃん、誕生日プレゼントは届いたかな？
エコはい、ありがとうございます！学校に行っている間に届いたので、再配達してもらいました。

クール最近、宅配便を利用する人が増えているけれど、その分、1回で受け取れない荷物も増えているんだよね。

エコ 私のお母さんもスマホでネット通販を利用しています。忙しい主婦には便利って言ってました。

クール 宅配便の取扱数はこの20年間で2.5倍、平成28年度には40億個を超えたんだ。それを何度も再配達すると、配送車の走行距離が増えて、CO2も増えてしまうよね。

エコ うん、そうか。確実に家にいる時間を指定して受け取れるようにしないといけないですね。

クール 世論調査によると、再配達を何度もお願いしたことがある人が50%を超えているんだ。再配達のために42万トンのCO2が排出されているんだよ！

エコ そんなに?! 地球温暖化に敏感な「E」ガールとしては、知らん顔はできませんね。

クール 最近では、自宅以外でも荷物を受け取れる「オープン型宅配ボックス」が設置されているところもあるよ。環境省でも、こうした取組みを広げるためにガイドラインを取りまとめたんだ。

エコ再配達を減らす意識を持って、今後の動きに注目ですね！



第51回
宅配便の再配達を減らして、CO2削減を

◀クール先生

ようこそ羽村へ もっと知りたい 遊牧と草原の国キルギス共和国

食文化から知る

キルギス共和国のおいしい料理を作ろう！(料理講座)
元キルギス青年海外協力隊の料理隊員である酒庭伊織さんの指導で、みんなで楽しくおいしいキルギス料理を作りましょう。

日時 10月6日(日)午後5時～7時30分
会場 コミュニティセンター調理研修室
対象 市内在住・在勤・在学の方
※子どもも同席不可
定員 20人(先着順)
費用 500円(材料費)
持ち物 三角巾(またはバンダナ)、エプロン



▲酒庭伊織さん

講師 酒庭伊織さん(元キルギス青年海外協力隊料理隊員)
協力 日本語ボランティアの会・夜の部
申込み・問合せ 8月26日(月)～9月27日(金)に、電話、Eメールまたは直接地域振興課市民活動センター係 ☎ 632へ
✉ s10700@city.hamura.tokyo.jp

世界の文化講座
キルギスの遊牧民の食に魅了され、何度も現地足を運んでいる先崎将弘さんに、キルギス共和国の食文化の魅力を知ります。講演の後には、茶話会も予定しています。

日時 8月24日(土)午後5時～7時30分
会場 コミュニティセンター第一研修室
対象 市内在住・在勤・在学の方
定員 20人(先着順)
講師 先崎将弘さん(中央アジア食文化研究者、『食の宝庫キルギス』著者)



▲先崎将弘さん

協力 日本語ボランティアの会・夜の部
申込み・問合せ 7月16日(火)から、電話、Eメールまたは直接地域振興課市民活動センター係 ☎ 632へ
✉ s10700@city.hamura.tokyo.jp

医療支援から知る



▲中島利博さん

文化祭第50回記念 特別企画「文化講演会」
親日国キルギス共和国の人々と草原のシルクロード
医療支援の中で交流した人々と、風土・文化・教育・スポーツ、そしてリウマチの「今」
リウマチ熱とその後遺症である心疾患がキルギスで猛威を奮っていることを世界に報告した中島利博さんは、日本とキルギスの架け橋となり、医療だけでなく多岐にわたる支援を行っています。講演では、医療支援などを通して学んだキルギス共和国のことや、中島さんの専門分野であるリウマチ、膠原病、線維筋痛症の最新治療法などについて話していただきます。

日時 10月26日(土)午後4時～(開場午後3時30分)
会場 ゆとろぎ小ホール
定員 250人(先着順・整理券が必要です)
※未就学児の入場不可
講師 中島利博さん(東京医科大学教授、キルギス共和国名誉領事)
主催 第50回羽村市文化祭実行委員会
後援 羽村市・羽村市教育委員会
協力 ゆとろぎ協働事業運営市民の会
整理券配布 7月15日(月・祝)からの午前9時～午後8時に直接ゆとろぎへ
※祝日以外の月曜日休館
問合せ ゆとろぎ ☎ 570-0707

